

国立大学等施設の整備

◆概算要求額（国立大学法人等施設整備費）

平成26年度 要求額 117,676百万円（前年度 59,323百万円）

内訳：一般会計：106,109百万円
 （うち、優先課題推進枠：76,494百万円）
 復興特別会計：11,567百万円
 （うち、復興庁一括計上：3,700百万円）

[他に、財政融資資金 39,729百万円（前年度 41,559百万円）]

◆内 容

「第3次国立大学法人等施設整備5か年計画」(平成23年8月26日文部科学大臣決定)に基づき、大学等の教育・研究機能を強化し、質の高い医療を提供するため、耐震化（非構造部材の耐震対策含む）、老朽化対策、最先端研究施設の整備及び附属病院の再生など施設の重点的・計画的整備を推進する。

【国立大学法人等施設整備事業】

施設の安全性を確保するとともに、各大学等の個性や特色を踏まえた教育研究環境づくりを進めるため、以下の施策について重点的に措置する。

○耐震化の推進（27年度までの完了を目標）

・耐震化率の進捗見込み

約94%（平成25年度当初予算事業完了後）⇒約96%（平成26年度概算要求事業完了後）

○安全性・機能性に問題があり、計画的解消が不可欠な老朽施設(ライフライン含む)の再生

○高度化・多様化する教育研究活動に対応するとともに、イノベーション創出の基盤となる最先端研究施設の整備

○大学の国際化を推進し、グローバル人材育成の基盤となる施設の整備

○地域医療や災害時の救命救急医療の拠点となる附属病院の再開発整備

◆要求事業数

<一般会計>

○新規事業 236事業（新しい日本のための優先課題推進枠要望を含む）

・耐震対策（非構造部材の耐震対策を含む）	150事業
・老朽化対策等	44事業
・イノベーション創出及びグローバル人材育成の基盤となる施設整備	14事業
・大学附属病院の再生	27事業
・PFI事業	1事業

○継続事業等 65事業

<復興特別会計>

○新規事業 24事業

・耐震対策（非構造部材の耐震対策を含む）	24事業
----------------------	------

○継続事業 4事業

大学附属病院再開発整備の進捗状況（平成26年度概算要求）

設置	大学名	再開発整備年度 （前回の再開発整備期間）	整備状況	病棟	中央診療棟	外来診療棟
				前回の建物整備時期	前回の建物整備時期	前回の建物整備時期
既設	北海道大学	昭和61年度 (平成10年度終了)	済	(H元~5)	(H6~8)	(S61~63)
	東京医科歯科大学	昭和62年度 (平成15年度終了)	済	I期(S62~H3) II期(H5~8)	I期(S62~H3) II期(H5~8) III期(H10~12)	I期(S62~H3) II期(H5~8) III期(H10~12)
	岐阜大学	平成11年度 (平成18年度終了)	済	(H11~14)	(H11~14)	(H11~14)
	大阪大学	昭和62年度 (平成5年度終了)	済	(S63~H4)	(S63~H4)	(H元~4)
	神戸大学	昭和56年度 (平成14年度終了)	済	I期(S56~58) II期(H10~13)	(S56~58)	(S59~61)
	鳥取大学	昭和62年度 (平成6年度終了)	済	(S62~H元)	(H4~6)	(H4~6)
	山口大学	平成26年度 昭和60年度~平成9年度	新	増築(H26~H30) I期(S62~H元) II期(H2~4)	増築(H26~H30) (H7~8)	(S60~61)
	弘前大学	昭和61年度 (平成22年度終了)	済	I期(S61~63) II期(H元~3)	(H8~10)	(H16~19) 救命救急センター(H21)
	群馬大学	昭和60年度 (平成21年度終了)	済	I期(S62~H元) II期(H10~12)	I期(S62~H元) II期(H15~18) 改修(H20~21)	(S60~61)
	信州大学	昭和62年度 (平成22年度終了)	済	I期(H3~5) II期(H7~8)	(H11~13)	(H18~20) 改修(H21)
	東北大学	昭和61年度 (平成23年度終了)	済	I期(H8~11) II期(H14~17)	(S62~H元)	(H10) 増築(H19~21) 改修(H21~23)
	秋田大学	平成18年度	中	増築(H19~21) 改修(H21~24)	改修(H22~25)	改修(H22~25)
	千葉大学	平成16年度	中	増築(H16~19) 改修(H20~22)		(H23~26)
	東京大学	平成2年度 (昭和58年度)	中	I期(H8~11) II期(H24~28)	I期(S58~62) II期(H14~17)	(H2~5)
	新潟大学	平成9年度	中	I期(H9~12) II期(H14~17)	増築(H18~21) 改修(H23~24)	(H21~24)
	金沢大学	平成9年度	中	I期(H9~12) II期(H10~13)	(H13~16)	(H18~20)
	名古屋大学	平成5年度	中	I期(H5~7) II期(H8~10)	(H13~17)	(H18~20)
	三重大学	平成18年度	中	(H19~23)	(H19~23)	(H23~26)
	京都大学	昭和60年度	中	(S60~62) (H24~27)	(S63~H3)	(H8~10)
	岡山大学	平成10年度	中	I期(H10~14) II期(H16~19)	I期増築(H22~24) II期増築(H25~28)	(S58~59)
	広島大学	平成10年度	中	(H10~H14) 入院棟改修(H22~23)	増築(H21~25)	増築(H21~25) 改修(H25)
	徳島大学	平成7年度	中	I期(H7~9) II期(H18~21)	(H12~14)	(H24~27)
	九州大学	平成8年度	中	I期(H9~13) II期(H13~17)	I期(H9~13) II期(H13~17)	(H18~21)
長崎大学	平成16年度	中	(H16~19) 感染症センター(H22~23)	増築(H16~H19) 改修(H24~27)	改修(H20~23)	
熊本大学	平成11年度	中	I期(H11~H14) II期(H19~21)	(H15~H18)	(H23~25)	
鹿児島大学	平成19年度	中	(H22~24(25)) (H26~29)	増築(H19~21) 改修(H21~22) (H26~29)		
51年	旭川医科大学	平成10年度 (平成16年度終了)	済	改修(H10~16) 増築(H10~13)	改修(H10~16)	改修(H16)
	愛媛大学	平成10年度 (平成16年度終了)	済	増築(H10~13) 改修(H13~16)	改修(H13~16)	改修(H13~16)
	山形大学	平成17年度	中	増築(H17~19) 改修(H20~22)	改修(H23~26)	改修(H23~26)
	筑波大学	平成19年度	中	PFI事業	PFI事業	PFI事業
52年	浜松医科大学	平成18年度	中	増築(H18~21) 改修(H22~25)	改修(H22~25)	改修(H22~25)
	宮崎大学	平成18年度 (平成24年度終了)	済	改修(H22~23) 改修(H23~24)	増築(H18~19) 改修(H19~20) 改修(H22~23)	増築(H20~21) 改修(H23~24)
53年	滋賀医科大学	平成17年度 (平成23年度終了)	済	増築(H17~19) 改修(H19,H20~21)	増築(H20~21) 改修(H21~23)	改修(H21~23)
54年	富山大学	平成20年度	中	増築(H20~22) 改修(H23~25)	改修(H25~29)	改修(H25~29)
	島根大学	平成20年度 (平成24年度終了)	済	増築(H20~23) 改修(H22~24)	増築(H20~23) 改修(H22~24)	改修(H22~24)
56年	高知大学	平成23年度	中	増築(H23~26) 改修(H26~30)	改修(H26~30)	
	佐賀大学	平成23年度	中	増築(H23~24(25)) 改修(H25~29)	増築(H23~24(25)) 改修(H25~29)	改修(H25~29)
	大分大学	平成22年度	中	増築(H22~24) 改修(H25~29)	改修(H25~29)	改修(H25~29)
	琉球大学	未着手	未			
58年	福井大学	平成23年度	中	増築(H23~25) 改修(H26~30)	改修(H26~30)	改修(H26~30)
	山梨大学	平成24年度	中	増築(H24~27) 改修		
	香川大学	平成23年度	中	増築(H23~25) 改修(H26~30)	増築(H26~30) 改修(H26~30)	改修(H26~30)

凡例
 済:整備済 15大学
 中:整備中 25大学
 未:未整備 1大学
 新:H26再開発整備
 新規要求 1大学

完了
 工事中
 未整備
 H26要求
 ※〇〇(H00~00(00))のアンダーライン部は繰越年度を示す。

山口大学医学部附属病院の再開発整備計画について

【現状と課題】

山口大学医学部附属病院は、昭和42年山口大学医学部附属病院として開院以来約46年が経過し、その間昭和60年から実施された再開発整備を完了したが、再開発に長期間要したことやその後の経年による施設の老朽化及び新たな医療ニーズによる狭隘（きょうあい）化の問題もあり、近年の医療の進歩に対応出来なくなっている。

高度先進医療の実現、高度医療人の育成、地域医療や患者ニーズの多様化への対応、また、災害に強い病院機能の強化など、医療を取り巻く環境の変化に対応し、国立大学附属病院としての機能を発揮できるよう、再開発整備を計画している。

【再開発計画の概要】

再開発整備計画としては、平成26年度から約10年をかけて、診療棟・病棟の増築、外来診療棟等の既存施設の改修を行う計画である。

年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35
診療棟・病棟増築(第2病棟耐震改修を含む)		■								
外来診療棟等改修						■				
基幹・環境整備	■		■							

※財政状況によっては計画に変更が生じる場合もある。

計画配置図

<凡例>

- 建設予定建物
- 改修予定建物
- 解体撤去建物
- 工事終了後建物
- 既設建物

